

衛生管理者受験対策講座

[第一種 2日コース / 第二種 1日コース]

試験に
よく効く



講習日程

HPトップの
【講習日程】より
ご確認ください



衛生管理者免許試験は合格率が50%前後の国家試験ですが、要点を押さえないまま勉強しても、「骨折り損のくたびれ儲け」(苦労しても何の成果もあげられないこと)となり、なかなか合格が難しいのが現状です。

当校では過去の出題傾向を徹底的に分析し、重要ポイントを確実におさえた講習カリキュラムで効率的な学習をしていただけます。

講習スケジュール

1日目	8:20～ 8:30	オリエンテーション
	8:30～12:00	関係法令(有害業務に係るもの以外のもの)
	12:00～13:00	昼 休
	13:00～15:00	労働衛生(有害業務に係るもの以外のもの)
	15:00～17:30	労働生理(有害業務に係るもの以外のもの)
2日目	8:30～12:00	関係法令(有害業務に係るもの)
	12:00～13:00	昼 休
	13:00～16:00	労働衛生(有害業務に係るもの)

講習日程

那加クレーンセンターのホームページ(<http://www.nakacc.co.jp>)でご確認いただくか、パンフレットをご覧ください。

講習のお申し込み

「衛生管理者受験対策講座受講申込書」(ホームページから取得できます)に必要事項をご記入の上、当校にお持ちいただくかFAXして下さい。

受講料(税・特製テキスト代込)

コース	受講資格	講座初日 学	2日め 学	講習料金 (テキスト代含む)
第1種 衛生管理者 2日コース	特になし	8:20 ↓ 17:30	8:20 ↓ 16:00	25,000 /円(税込)
第2種 衛生管理者 1日コース	特になし	8:20 ↓ 17:30		19,000 /円(税込)

入所者特典:もし初回の試験に不合格の場合は、本講座を無料で再受講できます。

〒504-0958

岐阜県各務原市那加新新加納町3771 岐阜労働局長登録教習機関

那加クレーンセンター

TEL 058-389-2227

FAX 058-322-2152

URL www.nakacc.co.jp

衛生管理者とは

常時50人以上の労働者を使用する事業所においては、必ず衛生管理者を選任することが義務づけられています。事業所の労働者の健康を確保することが任務です。

衛生管理者の区分

衛生管理者は第1種と第2種に分かれており、業種により必要な資格が異なります。

第1種衛生管理者	農林水産業、鉱業、建設業、製造業、電気業、ガス業、水道業、熱供給業、運送業、自動車整備業、機械修理業、医療業及び清掃業
第2種衛生管理者	上記以外の業種

衛生管理者試験について

1.試験科目・試験時間

種 類	試 験 科 目		試験時間
	範 囲	出題数(配点)	
第1種衛生管理者	労働衛生 有害業務に係るもの	10問(80点)	3時間
	有害業務に係るもの以外のもの	7問(70点)	
	関係法令 有害業務に係るもの	10問(80点)	
	有害業務に係るもの以外のもの	7問(70点)	
第2種衛生管理者	労働衛生	10問(100点)	3時間
	労働衛生(有害業務に係るものを除く)	10問(100点)	
	関係法令(有害業務に係るものを除く)	10問(100点)	

2.合格基準

全体の点数が60%以上で、かつ各科目が40%以上となります。試験の出題は5肢択一で、マークシート方式です。

3.試験場所

試験会場は全国7ヶ所にある安全衛生技術センターにて行われます。東海地方では、

中部安全衛生技術センターは、

愛知県東海市加木屋町丑亥海戸51-5 TEL.0562-33-1161

Dr.マジコ
Majicoの



読むだけで10点は差がつく スーパー学習法

さまざまな資格試験にチャレンジし、すべて一発合格のDr.Majicoが、学習のコツを伝授します。

最適な参考書を選びます

なるべく大きな本屋でいろいろな参考書を手に取りじっくり選ぶこと。

参考書選びのコツ

文字が小さくて、ページ数の多いものは避ける。

ぶ厚い参考書は、出題頻度の少ないところまでムダに解説している可能性大。また本の厚みで最初から勉強意欲が減退します。

二色刷りか三色刷り(黒・赤・青)で、文字が大きく、図やグラフがポイントごとに示してあるものがグッド。

経験上フルカラーのものは却って記憶しにくいようです。ページ数が少ないものは、要点を押さえて解説してあるものが多く、学習意欲も湧きます。

「ここが出る!」「重要!」などと、特に覚えておくべきポイントがはっきり示してあるものが良い。重要ポイントがはっきり示してあるものを選びます。

使ってみて「自分に合わないな」と思ったら他の教科書にチェンジする。余分な出費のように思われますが、いつまでも自分に合わない教科書を使っても結局合格率があがらないので、貴重な時間をムダにすることとなります。思い切って教科書をチェンジしましょう。

効果的な学習のポイント

単元ごとに学習、そして過去問にチャレンジ

ある程度教科書のひとまとまり(単元)ごとに学習し、直後にその単元の過去問を解いてみます。初回は過去問にまったく歯が立たないですが、出題内容はほぼ教科書に書かれていますのでもう一度教科書に戻って再学習します。それをくり返すうちに出題のポイントがわかってきます。

教科書の重要ポイントに蛍光マーカーを引く

記憶すべきポイントに蛍光マーカーを引きます。経験上きみどり色のマーカーが目にもやさしくおすすめです。また、教科書にのってなくて、過去問には出題されているケースがたまにあるので、その事項は覚えておきたい追加項目として教科書の余白にボールペンで追加しておきます。

1日2時間の学習時間を確保

集中してできる場所で1日2時間は学習して下さい。自宅学習が基本です。でもテレビや音楽を聞きながらの学習はおすすめできません。集中できさえすれば、カフェなども可。毎日2時間学習すればだいたいの資格試験は2ヶ月程度あれば合格ラインに達します。

試験にできる事項を集中的に学習する(試験に出ないところは捨てる)

学習項目を重要度で分類すると以下ようになります。

A.必ず出題される項目 B.よく出題される項目 C.たまに出題される項目
D.まれにしか出題されない項目 E.出題される可能性がない項目

このうちDとEは最初からあえて学習しないようにします。

ABCだけをしっかりと学習すれば90点以上得点できます。一般的な資格試験の場合合格点は60点か70点、ABCだけの学習でも十分合格ラインに届きます。試験に出ないところは最初から捨てる覚悟で取り組みましょう。

Q.でも、試験に出ないところを学習しないなんて邪道じゃないの?

A. けっして邪道ではありません。

試験の出題者の立場になって考えて下さい。出題者は試験範囲のすべてを完璧に理解してほしいとは思っていないのです。出題者は、「業務上絶対に知っていてほしい基本的な知識だけは是非身につけておいてほしい。それを確実にできる人に合格してもらいたい。」と思っているのです。

自分専用の暗記ノートを作る

記憶すべき内容を自分なりに図や表にしてノートを作ります。学習が進むにつれてノートに付け足したり変更したりできるよう鉛筆で作成します。見やすいように自分なりに考えながらノートを作る過程で自然と知識が身につくという効果もあります。図や表にすることにより知識が整理されて脳にインプットされやすくなるのです。

記憶すべきことがらをひととおり整理する。

あとはひたすら「記憶と過去問チェック」を繰り返します。

その過程で、十分覚えた項目=○、ある程度覚えた項目=△、まだ不十分な項目=×に分類します。ノートの端に鉛筆で ○ △ × などの表示をするのもよいでしょう。

仕上げ段階の学習

あとはひたすら過去問にチャレンジ

試験日の2週間前には、覚えるべきことがらをほぼマスターします。あとはひたすら過去10年分(10回分)程度の過去問を総チェックします。過去問はそれまでの学習の過程でやっているのですらすらできるはずですよ。

模擬問題集をやってみよう

出題スタイルが本番の試験に合わせた模擬問題に取り組みます。教科書を見ずにコンスタントに90点以上とれば合格水準です。模擬問題集は、過去問にそった内容のものを選びます。過去問からはずれたマニアックな問題集を選ぶと全然正解できなくて不安が増大し、パニックになってしまいます。

試験当日

早起きして気合いをいれる

前日は早寝して試験日は早起きします。電車の時刻表を確認します。車で行く場合は試験会場をナビにインプットしておきます。そして朝食前にかかる教科書をおさらいします。朝食は食べ過ぎないようにしましょう。試験日の持ち物は前日までにカバンに詰めて準備しておきます。

試験会場まで

試験会場には45分前に到着できるよう余裕をもって家を出発しましょう。会場までのルートは完璧に把握しておかないと道に迷うことになります。試験会場では教科書とノートを軽くおさらいします。

おまけ

試験日のもちもの(保存版)

●HB鉛筆(削ってあるもの3本程度)、よく消える消しゴム、時計 ●参考書、自分専用ノート ●お金(交通費、昼食代、予備費) ●受験票、受験会場の地図 ●試験時に持ち込み可能なもの(電卓など) ●弁当、お茶 ●チョコまたはぶどう糖キャンディ(試験前に食べると脳によいらしい)